

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和2年4月 第192号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 みんなで創ろう 新たな未来
- 新時代 つないでいこう 保安意識



奈良公園の桜と鹿

写真提供：一般社団法人

奈良県ビジターズビューロー

第二回評議員会	2
委員会報告	12
単位組合紹介	13
賛助会員の広場	14
お知らせ	15

2019年度 第二回 評議員会開催

2019年度第二回評議会が2020年2月14日（金）新大阪ワシントンホテルプラザにおいて役員41名出席のもとに開催されました。当日審議された議案は6月開催の総会に上程の予定です。



定刻、事務局より評議員会運営規程第9条に定める過半数以上の出席により、本会議は成立している旨を報告し、次いで吉田副会長より開会挨拶がされた。

本年は東京オリンピック・パラリンピックが7月・8月に開催されることから警視庁からは危険物等の厳正な保安管理と徹底をお願いしたい旨の通知が届いている。爆発物の原因となる高圧ガスについては保守管理の徹底は勿論の事、盗難や不審取引等の事案について管轄警察への即応が求められ、高圧ガス業界にも様々な影響が出てくるものと想定される。一方で我々業界の経営環境は原材料の高騰、人手不足等で厳しい状況におかれているが、全溶連の会員同士が結束してこの局面を乗り越えていく必要がある。会員各位の保安・安全を基本として業界団体と協力しながら消費先に対する自主保安強化の推進を図り保安意識の高揚に取り組んでいく所存である。

最後に、各地区組合の状況報告が予定されており、スムーズな議事進行と有意義な会議となるよう皆様のご協力をお願いして、私の挨拶とした

い。

引き続き、深尾会長が議長となり議事に入った。

第1号 議案

2019年度 事業報告(案)承認の件

事務局より議案書に基づき以下内容を報告した。

- 1.全溶連の環境（内容朗読）
- 2.全溶連の事業活動の状況（内容朗読）
- 3.一般庶務事項（記載通り）
- 4.委員会活動の状況
各委員会の開催状況を報告した。
- 5.総会及び役員会における審議事項（記載通り）
- 6.会員数の推移

①2019年10月1日：1,388社

②比▲1社、③比▲11社

②2019年4月1日：1,389社

③2018年10月1日：1,399社

7.慶弔

慶事は記載通り、物故者については後日調査後

報告とする。

以上事業報告は承認された。

第2号 議案

2019年度決算見込み(案) 承認の件

柳川財務委員長から2019年度決算見込(案)について報告した。

2019年度 収支決算書(見込案) 要旨

(収入の部)

単位: 千円

科 目	予 算	決算(見込)	備 考
1.基 本 収 入	26,528	26,402	- 126 正会員数予算比 - 11 社
2.事 業 収 入	15,282	16,586	+1,304
(保安事業関係)	9,070	10,476	(+1,406)周知文書全文解説書新規発刊により頒布数増大
(共済事業関係)	6,212	6,110	(- 102) 予算とほぼ同額にて推移
3.事 業 外 収 入	1,650	1,700	+ 50 利息、パンフレット封入代、損保広告掲載料他
4.前年度繰越金	11,776	11,776	
総 合 計	55,236	56,464	

(支出の部)

単位: 千円

科 目	予 算	決算(見込)	備 考
1.事 業 費	12,049	12,480	+ 431
(保安事業関係)	5,529	6,000	(+471) 販売に応じた原価
(共済事業費)	880	880	(± 0) 生保、医療・傷害保険集金事務委託他
(その他事業費)	5,640	5,600	(- 40) 容器特別回収ポスター・チラシ等作成
2.会 議 費	2,890	2,995	+ 105 保安W、経済W、保安対策連絡会議
3.管 理 費	26,486	26,293	- 193 人件費、業務委託費、事務所賃貸料、雑費他
4.総会・大会準備金	3,000	2,500	- 500 ホームページ作成費用分来期持ち越し
5.営 業 外 費 用	120	150	前年度実績値を参照
6.次年度繰越金	10,691	12,046	見込利益 269千円(予算利益▲1,085千円)
総 合 計	55,236	56,464	

繰越金は12,046千円となることから全額次年度繰越金とすることが提案され承認された。

第3号 議案

2020年度 事業計画(案) 承認の件

関口事務局長より、昨日開催された総務委員会及び常任評議員会で決定された12項目の事業計画案が提案された。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
- 3.主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
- 4.自主保安活動並びに消費者への保安対策の強

化・推進

- 5.関連業界及び団体との共同事業の推進
 - 6.高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
 - 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
 - 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
 - 9.福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
 - 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
 - 11.第77回全溶連総会(大阪)の開催および第78回全溶連大会(九州)の準備
 - 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
- 以上、2020年度の事業計画(案)は承認された。

第4号
議案2020年度収支予算(案)
承認の件

柳川財務委員長より2020年度予算(案)について提案された。

2020年度予算(案) 要旨

(収入の部)

単位: 千円

科 目	2019年度見込	2020年度予算	備 考
1.基 本 収 入	26,402	26,396	－ 6 正会員 1,388社 賛助会員 40社
2.事 業 収 入	16,586	14,827	－ 1,759
(保安事業関係)	10,476	8,740	－ 1,736 周知文書全文解説書頒布量減少
(共済事業関係)	6,110	6,087	－ 23 8,700口×@40×12ヶ月他
3.全溶連総会収入	0	960	懇親会参加者120名 @8,000円
4.事 業 外 収 入	1,700	1,700	± 0 受取利息他
5.前年度繰越金	11,776	12,046	
総 合 計	56,464	55,929	

(支出の部)

単位: 千円

科 目	2019年度見込	2020年度予算	備 考
1.事 業 費	12,480	11,700	－ 780
(保安事業関係)	6,000	5,240	－ 760 販売に応じた原価
(共済事業関係)	880	860	－ 20 団体保険、傷害・医療補償事務手数料
(その他事業費)	5,600	5,600	± 0 容器特別回収月間ポスター他作成費用 会報誌年4回発行・委員会活動
2.会 議 費	2,995	3,700	+ 705 総会費用(今年度は単独総会年)
3.管 理 費	26,293	27,279	+ 986 ホームページ作成費用含む
4.総会・大会準備金	2,500	1,700	－ 800 2021年大会向け
5.営 業 外 費 用	150	120	－ 30 前年度実績値を参照
6.次年度繰越金	12,046	11,430	当期利益: － 616 千円
総 合 計	56,464	55,929	

以上2020年度予算(案)は承認された。

第5号
議案第77回全溶連総会に関する件、
および第78回全溶連大会に関する件

関口事務局長より、第77回全溶連総会開催および第78回全溶連大会の開催に関する事項について提案された。

1) 第77回全溶連総会開催について

- ①総会開催日 2020年6月4日(木)
- ②参加者経費は理事、評議員、代議員を含め参加者(組合)負担とする。
- ③懇親会費(8,000円/人)は参加者負担とする。但し、来賓は無料、報道は1社1名のみ無料
- ④総会開催案内、出欠通知は理事・監事・評議員・代議員・賛助会員に案内
- ⑤一般会員には案内しないが会報誌に掲載

および単位組合に通知しオブザーバー出席は自由とする。

上記内容にて準備を進めたい。

2) 第78回全溶連大会開催について

- 1.開催日 2021年6月3日(木)、4日(金)
- 2.会 場 ホテル日航福岡
JR博多駅より徒歩3分
- 3.参加予定数 300名
- 4.①オプション 市内観光 バス日帰り
②オプション ゴルフ 10組予定

以上の内容で準備を進めたい。

第5号議案第77回全溶連総会及び第78回全溶連大会の開催について承認された。

報告事項

各委員会報告

各委員会の委員長が報告を行った。

総務委員会（東狐委員長）

総務委員会の活動は第3号議案の通りである。

財務委員会（柳川委員長）

財務委員会の活動は第2号、第4号議案の通りである。

組織委員会（大島委員長）

組織委員会の活動は組織の整備・拡充、会員増強に向けて活動しているが、昨年度に引き続き「企業の統合・合併や廃業」といった理由により31年度も会員数が減少し続けている。

2018年10月の会員数は、1,399社で2019年10月には1,388社と、1年間で11社の減少となり、減少に歯止めがかかっていない。正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強に注力しており、2019年4月より1社の新規加入を得ることが出来た。

今後も全溶連の加入メリットをアピールし、加入の働きかけに取り組んで参る所存である。

経済委員会（佐藤委員長）

経済委員会の活動では、長年取り組んでいる商慣行改善運動について、保安契約の推進の取組強化、容器供給において容器の所有形態別に個別に契約確認事項を定め保安に関する契約書の締結が重要である。

次に販売店員のレベルアップを図り、経済・保安ワーキンググループにおいて進めている各地域での講習会を開催し講師の育成支援に取り組んでいく。また、鳥インフルエンザに加え、豚コレラが平成30年9月に岐阜県の養豚場において26年ぶりに発生し、炭酸ガス供給側の高圧ガス業界と行政側との協力により取り組んでいるところである。ここ最近問題となっている高圧ガスのネット販売については、全溶連としても経済・保安WGでアンケート調査を実施し現状を認識したところである。

賠償責任保険制度の加入状況について、2019年度の募集結果は507社の加入で前年度に比較して6社増となり、加入率は54.1%、契約保険料は2,418千円増の58,625千円となったが、加入率が約半数に留まることから、加入されていない会員の方は、この機会に是非検討願いたい。

保安委員会（大岡委員長）

保安委員会の活動としては保安文書改訂報告・外国人保安対策資料の進め方・全国保安講習会の状況確認・ネット販売対策の進捗と販売店コンプライアンス資料作成・高圧ガス容器の回収事業とし、会議で議論した内容を各地域の組合における保安活動に反映する事とした。

活動方針の大きな柱として、法令遵守と放置容器回収に代表される業界活動、消費先への保安推進が挙げられるが、各事業は、社会変化により必要とされる現状の問題解決にあたる保安資料の作成、会員組織及び企業の供給先消費現場に対する保安推進活動の支援、現状にそぐわない保安資料の改訂といった優先順位で活動を進めていく。高圧ガス設備の機能の維持・運用の重要性を、しっかりと理解して頂く必要があることから情報提供の手段となる保安資料の拡充はかせないと考え、今年度は「全溶連発行周知文書全文解説書」と併せて増ページ改訂版の「高圧ガス消費者保安講習会テキスト」を発刊した。

厚生委員会（上野副委員長）

厚生委員会の活動は福祉共済制度の拡充ということで、団体定期保険、傷害補償、医療補償、GLTDの拡充を中心に活動していく。

今期はキャンペーン第8弾として2019年10月1日から2021年3月31日までの期間にて「ポイントゲットキャンペーンPART3」を行う。このキャンペーンは前回のポイント加点基準を見直し、上位5組合を表彰する。2020年1月の団体保険更新募集の結果は、全体では2019年1月時より加入人員は33名減の3,714名、加入口数は117口減の8,668口となり大幅な減少となった。

福祉共済制度の制度運営費は各組合の貴重な手数料収入となっており、1月の定期募集以外の月

でも随時加入が可能なので、今後とも皆様のご支援、ご協力を願いたい。

広報委員会(事務局)

広報委員会の活動は会報誌を年4回発行しており、特集記事(新春座談会・大会開催)の作成や第10回の写真コンテストをおこない、応募総数22名・59作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、埼玉組合の望月さんの作品「踊る少女」が最優秀作品として選ばれ、1月号の表紙に掲載した。

各地区報告

各地区組合から地域報告を頂きましたが、紙面の関係で要点のみ掲載させていただきます。

詳しい内容は全溶連ホームページ評議員議事録を参照願います。

北海道(代理小川事務局)

北海道に関する経済動向であるが、向こう3年間の仕事量を抱えており、好況が続く見込みである。好況な案件としては、①日本ハムの本拠地ドームの建設開始。②副都心の新規ホテル6棟の建設に伴う鉄骨需要の拡大。③2030年度末開業に向けての北海道新幹線(新函館～札幌)の建設工事の推進。

不安要素としては、新型コロナウイルス感染に伴う道内観光への影響(道まとめ)について発表があり、道内の関連事業は予約キャンセルが相次いで発生していることから、観光関連企業は大きな影響が出ることが想定され心配されるところである。

青森(葛西評議員)

今年は暖冬の影響をまろに受け12月1月の青森市は、气象台始まってから初めての降雪ゼロを記録した。この時期、青森県の建設業関係は除雪、スキー場等の作業に従事しており厳しい状況に立たされている。好況な面としては昨年秋頃より青森⇄台湾間の定期便が週5便の就航となり、各便は常に満席状態が持続しておりインバウンドによる経済効果が出ている。

我々業界の重要な顧客であるファブ業界は、Hグレード・Mグレードの企業は東京近郊を主体とした工事の受注と東北災害復興の仕事を抱えれば

また賛助会員については、少しでもお役に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社広告を無償で紹介しており、既に3巡目に入った。皆さんに見て頂き、読んで頂く会報誌を目指し取り組んでいく。

全溶連のホームページについては、随時改訂を行っているが、運用ソフトサポート停止、セキュリティに問題があることから早期にリニューアルを図っていく。

順調であるものの原子力関連事業については、大間原発の稼働予定が10年程の時間を要する状態であり、東通原発については停止状況にあり足踏み状態である。

岩手(大上評議員)

当県も暖冬により事業形態が崩れ厳しい状況に立たされている。また、2016年から開始の公共事業である盛岡～宮古間の横断道路は終息に近づいており厳しい状況だ。

台風19号による沿岸被害は漁業関係に大きな損害を与え、宮古～室蘭間に就航していたフェリーも数年後に廃止となる。期待していたILC(国際リニアコライダー)の岩手誘致は、頓挫している状態である。

鉄骨ファブ関連は、70～80%が関東方面の仕事であり、今後の経済予測としては、緩やかな状態が続くとの予測であり設備機械関係は買い控えがあるようだ。雇用用状態について我々の業種や顧客の業種は雇用状態が悪く、働き方改革の影響もあり経営者は辛い局面に立たされている。

秋田(相場評議員)

秋田も暖冬の影響を受けLPG・灯油を扱うエネルギー関係業者は売上に大きく影響し厳しい状況となっている。県全体としては、持ち直しの傾向で推移している。生産者側では、電子部門の生産額が落ち込み機械金属や輸送関連についても海外向けの落ち込みが目立っている。また、人手不足が続いていることから、解消策として外国人労働者を採用する企業が多く散見され、県内486事業所で2,000人以上を雇用しており、この傾向は進むものと思われる。今後の動向として県側は、

航空機や自動車、再生エネルギーに力を入れており、特に風力電力については建設が盛んに行われ、1～2年の間には洋上風力発電の建設が出てくる見込みである。

山形（三嶋評議員）

昨年、6月18日に新潟県境、荘内県境を震源とする震度6強の山形県酒田沖大地震が発生した。同地震被害状況については自社被害2件、消費者先は3件との報告であった。震度が大きい割に被害が少なかったものの現地では家屋の破損が多く現在もブルーシート状態も多々あるが、暖冬により救われた。また、台風19号の被害については山形県内部地区で若干の被害はあったものの大事に至らなかった。今後の心配事としては、酒田港に4、5回寄港する計画をしていたクルーズ船（ダイヤモンド・プリンセス号）は新型ウィルスの感染により中止になると思われる。

宮城（佐藤評議員）

県内の環境であるが、これまで需要を導いてきた震災復興関連インフラの整備等については一段落した。東日本大震災以降の人口減回復はしていない。石巻に拠点を置く企業が123億円の負債を抱え民事再生会社更生法の手続きを行う旨の情報があり、地元においては不安感が募っている。ガスの出荷状況は、横ばいもしくは減少傾向にあり、アセチレンの需要は激減しているようだ。また、同地域での客先における問題は、後継者と人的問題等で閉塞感が広がっている状況である。ヘリウムガスの状況も出荷量の制限から大学研究所では実験方法を工夫等により省ヘリウム化を実践しているが、出荷量が回復しても需要の回復は見込めず心配している。

茨城（柳川評議員）

来月で東日本大震災から9年の歳月が流れることからガスメーカーの協力を得て「東日本大震災から学ぶ自主保安」と題し、一般ガス販売事業所向けの講習会を実施した。「災害は忘れる前にやってくる。災害はいつでもどこでもやってくる。」との話が印象的であった。また一般ガス消費者保安講習会は、日立、筑西の2か所にて実施し、「車輛等の盗難防止」について県警より講話を頂き、「高圧ガスの取り扱い及び管理方法」と題しガス

メーカーより講話を頂いた。

昨年度の茨城県におけるトピックとしては、日立地区にLNGタンク2号機が作られ日立市から神栖市迄の間（全長92km）を地下にパイプラインを通し、2020年度中に敷設完了する運びである。

群馬（辻評議員）

ガスの事故については、LPGを除き昨年は16件（うち漏洩事故が14件）ここ数年は15～18件程度で推移している。不明容器の回収は8月に強化回収月間として設け11月中旬に容器回収結果報告会を行っている。昨年の不明容器は47本消費者不明容器が25本となり、後日くず化処理する予定である。

県内における景況感、総合的な判断として緩やかに回復しつつあり個人消費生産活動は持ち直し改善されとの予測であるが、先行きの見通しとして企業収益は減益で景況感は下降気味の見通しである。

埼玉（小宮評議員）

県が発表した昨年10月～12月までの経営動向調査によると足踏み状態であり先行きに慎重さがみられるとの事である。昨年の台風19号により埼玉県も甚大なる被害を受け、死者4名、7,000棟超の家屋損壊があり、会員の中には2社が1mを超える水害に見舞われている。

昨年9月には秩父地区において県内初の豚コレラ（CSF）が発生し、殺処分用として炭酸ガスの供給依頼があったが、豚コレラへの対応策を講じていないことから、鳥インフルエンザでの覚書による連絡網を利用し対応した。その後、県内6か所で豚コレラが発生し炭酸ガスの総数は230本を供給し現在は平穏状態となっているが若干の心配が残っている。

千葉（加藤評議員）

企業経営動向調査によると昨年10月～12月全体産業における業績判断は4期連続で悪化しているが、製造業については昨年の台風19号の被害に絡む災害復興作業により一部改善がみられ、非製造部門においては消費税増税に影響を受け悪化しているものの先行きは改善が見込めると踏んでいる。

県内に製造拠点を構える国内大手鉄鋼企業のう

ち1社が組織の再編計画となる旨の報道があり、先行き不透明感からマインドが下がっている。また、石油化学業界の稼働率は堅調であるものの米中摩擦等の長期化により市況も低迷している。今年度の容器回収くず化については、平成29年度の回収は200本であったが、今年度は534本と大幅な増加となった。

東京（市村評議員）

10月11日に参加者250名を対象に消費者保安講習会を実施したが、昨年度は380名、一昨年は320名の参加であったことを考えると講習会のマンネリ化により参加者が減少していると感じている。今回の講習内容は、都庁保安課よりオリンピックに関連するTDM（交通需要マネジメント）推進について、警視庁より高圧ガス保安に絡む取締実施についての講話があった。

TDM：東京オリンピック開催期間において都内企業は不急の物品発注を控える他、社員の通勤手段について時差出勤や職場内で働くテレワークを推進している。道路緩和の切り札として導入されるのが首都高速道路の全線において時間帯によってETCを搭載する全車両に通行料を半額にすることで混雑緩和することを目途とする。

神奈川（佐波評議員）

経済動向について、生産活動を中心に弱さがみられ国内外に苦戦を強いられている状況である。昨年9月の台風被害の状況であるが、風向きにより横浜の海沿いの工業団地に於いては3m程の堤防に10mに及ぶ高波が発生し堤防の一部が決壊、工業団地内は浸水し、各企業が保有のレーザ加工機をはじめ工作機械が軒並み浸水被害を被った。また、容器が海に流失したケースもあったことから神奈川県では災害時の容器流失をいかに防ぐかが問題点になっている。

神奈川県は行政移管となる政令都市を3つ抱えているが、移管に伴い消防署が新たに監督官になるわけだが、現場に対する知識、経験が浅いものの文書に対する見識は深く従前の規定等の指摘が多々あり見直す必要性を感じている。

静岡（仲田評議員）

主な活動として①放置容器防止活動②高圧ガス危険物防災訓練を実施③販売事業者保安講習会を

実施している。防災に対する意識を高め保安防災に力強く取り組んでいきたい。

県内の市況であるが、トヨタ自動車東日本が裾野市にある東富士工場跡地を利用して「コネクテッド・シティ」と題したプロジェクトを立ち上げ未来都市を誕生させることになり注目されている。また、スズキ自動車の操業状況については、前年度に比して生産台数が5%程減少しているとの事である。

長野（代理宮原氏）

近年の家畜伝染病対応等で同業他社との連携強化を目的に昨年8月28日に営業部門、製造・技術部門の若手、中堅・管理者を対象に幅広く募集し研修会を開催し約60名の出席を得た。

台風19号は県内各地に甚大な被害を与え長野市内を流れる千曲川の堤防が70mに亘り決壊し、長野新幹線車両センターに入庫していた10両編成120両が冠水し廃車処分となった。

県内では高圧ガス保安法関連の事故はなく高圧ガス容器の流失も発生していないが、LPG容器は21本流失したとの報告があった。台風による被害額は約3,000億円が見込まれ県の台風被害対策費は1,600億円を充てるとの事で今後、千曲川水系の復旧工事、公共事業の増加が見込まれるが人手不足や職人不足により深刻な問題が出てきている。

新潟（山崎評議員）

高圧ガスに関係している業種としては鉄工所だけではなく建設業者、解体業者も増加傾向にある情勢の中、県側にて各業界団体向け講習会の開催案内に当会も便乗する事としたが、最終的にどのような伝わるのか期待しているところである。

経済状況について、暖冬の影響を受け県内の建設業界は除雪作業もなく苦境に立たされている。一部県外より仕事を受注している会社もあり順調とは言えないものの稼働しているようだ。また、三条地区における自動車部品（マフラー等の製造）製造関係は順調だが、昨今の状況を考えると楽観することが出来ず、全般的に明るい兆しは見えてこない思いである。

東海（石川評議員）

昨年、東高連の会長である鈴木康春氏が急逝し大きな柱を失うという大変な出来事が生じてしま

った。今なお影響が大きく余震が残っている感じである。11月の葬儀には、深尾会長を初め沢山の方に参列頂き感謝を申し上げますと共にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

東海地区の景況感についてだが、当地区の設備投資は6年連続増加しており、消費税増税に対しても個人消費はあまり影響を受けることなく停滞せずに持ち直している状況である。

昨年は東海地区が発症源とされる豚コレラ(CSF)により周辺地区に多大な影響を与えたが、感染源と思われる野生イノシシへのワクチン散布と家畜豚への予防ワクチン接種に期待を寄せているところだ。

北陸(東狐評議員)

昨年6月に北陸金沢において開催された第76回全溶連大会には240名の参加を頂き皆さんのご協力により無事終了することが出来感謝を申し上げます。

北陸地区における景況観は、製造業を中心として好調であり人手不足対策としての設備投資も積極的である。それに加えて敦賀までの北陸新幹線の延伸工事も順調であり全国平均以上で好調に推移しているが、建設機械関係は国際的な生産調整に入っており厳しい環境となっており、工作機械関係も中国や新興国への落ち込みが目立っているようだ。半導体は順調であるが主力のスマホ向けは世界的な需要減退となっているのが現状である。なお、好調を維持している医療関係はジェネリック薬品制度を中心として堅調であり、鉄骨建築も首都圏物件を中心として好調を維持している。

京都(中森評議員)

京都はガス産業が少なく新聞紙上での景況感は緩やかに下降している雰囲気であると評論されている。京都市が掲げる方針として観光を重視するとの考えがあるが、京都市内の土産物屋で新型コロナウイルスの発症があり今後の成り行きが危惧される。

当県は板金加工業の多い地域でもありレーザー加工機を導入する企業が多く、最近の設備投資の傾向としてはレーザーガスが不要なファイバーレーザー加工機の導入が進んできており、レーザーガスの需要を含め極端なガス需要減に見舞われている。

奈良(植野評議員)

京都と同様にインバウンド効果が大きい県であるが、先般、日本人への感染として新型コロナウイルスが国内初の感染者として当県で確認され、これによりインバウンド効果が減退しており今後どのように終息するのか心配である。

奈良県では昨年周知文書全文解説書の発刊を機に販売事業者を対象に保安講習会を開催した。

今年の保安講習会では、昨年の水害事故を教訓としてボンベの流失事故等の問題点を踏まえた講習会を行なっていきたい。

大阪(栗田評議員)

大阪の景況感としては、中小企業が多く景気が悪化しているのが実感であり、大阪万博開催に関する経済効果についても目立った動きは感じられないのが実情である。

当組合としての取り組みとしては、事故防止の啓発に努め消費者保安講習会や販売店向けの保安講習会を通じ不明容器の徹底回収と知識不足によるケアレスミスの防止を特に訴えている。毎年開催しているガス溶接技能講習会及びアーク溶接技能講習会は、従前は土・日で開催していたが、近年、働き方改革の影響もあり、次回の講習会は平日開催とすることで進めている。

保安に関する情報交換及び連携を目途として近畿2府4県の高圧ガス組合理事長に参集願ひ、近畿高圧ガス連絡会議を定期的に開催するに至った。

和歌山(代理佐津氏)

当県においては高圧ガス容器管理指針の策定に向け活動しており、今後一般消費者に向けての周知活動を実施していくことで進めている。その背景には、近畿2府4県の殆どが容器管理指針は策定済みである事から他府県に後れを取らないように進めていく所存である。

当県においても昨年発生した台風による自然災害により甚大な被害を受けたが、当地域は南海地震の発生が想定されていることから高圧ガス容器の流失等について容器管理指針の策定が必要となっている。

兵庫(大岡評議員)

昨年は台風による被害はなかったが、被害対策の一環として昨年10月の高圧ガス大会において

BCPに対して著名な講師を招聘し講演会を行った。結果的には組合員だけではなく広く高压ガス地防協の方達にも大きな反響を得た。1月に阪神淡路大震災から25年が経過したが、我々の組合は2020年度に60年の記念すべき年を迎え総会時には祝宴を予定している。

来年度の保安講習会については、労働局から酸欠、外国人対策、高所での溶接作業の対策を充実させた安衛法関連の資料を作成、県警からは警察活動から見た高压ガスの流失等の資料をまとめ案内パンフレットに盛り込み集客以前に消費者にアピールを行いたいと考えている。

岡山(山本評議員)

岡山県の景気は減速するとみている経営者は31.6%となっており、前年の同アンケートと比較すると21.7ポイントの上昇となっている。要因としては、物流費、人件費の上昇による企業収益の悪化の他、中央経済への減速が見通しに影響を与えていると思われる、今回の新型コロナウイルスにより中央経済が減速していくとの見方である。

人手不足については解消されていない状態であり7割超が人手不足であるとの回答であるが、事業承継問題も大きな悩みであり、ある興信所調べでは、後継者不在の割合は、中国地方は非常に高く割合が高い順のトップ10に中国地方5県の内、4県がランク内にはいるとの事で、今後後継者不在による廃業が深刻な問題となるのではないかと捉えている。

広島(上野評議員)

自動車メーカーのマツダが生産減少しており、先日、日新製鋼呉製鉄所の高炉を閉鎖するとの報道があり、景況感については大幅に低下している状況であるが、広島駅の再開発が盛んでヒルトンホテル建設や新サッカースタジアム等の新規着工物件はあるが、工業生産では新型コロナウイルスの流行により中国への輸出見通しは、輸出製品の減少や生産工場における調整休業問題等があり楽観視できる状況にないのが実情である。組合としては多くの消費者に対し保安教育の実施を行い、安全なガス使用を啓発していく事を今後の課題としていく所存である。

山口(金子評議員)

山口県における景気動向は大きな変化はなく緩やかな回復基調と言われているが、国内事情は価格の現状維持はされているものの自動車関連は若干の落ち込みがあり、輸出は少し停滞気味である。また、様々な職種において人手不足問題が生じており公共事業については年々減少している傾向にあるようだ。

組合関係では、消費者講習会の開催は例年1会場で行っていたが、今回初の試みとして2会場に分け実施した。結果は未確認だが、今後も同様な開催方法とする考えである。講習会にあたっては、資料内容を見直し、マンネリ化した内容の講習会とならないよう協会内にチームを編成し今後に備えていく。

好況な情報としては新幹線を製造している日立製作所下松工場は生産が追い付かず現在フル操業である。

四国(三浦評議員)

企業の生産動向としては、引き続き横ばいの動きであり、電気・機械は携帯端末の景気が回復する他、5Gの需要も高まり持ち直しているが、我々を取りまく業界は日米貿易摩擦や消費税増税更に新型コロナウイルスによる影響により先行き不透明感が我々を取り巻く環境である。

行政が容器管理指針を制定するのは全国でも異例だと思われ、香川県は2019年10月に容器管理指針を発表したが、高知県、徳島県も行政が容器管理指針を発行している。

消費者保安講習会の実施に関しては四国協議会内で持ち回りにて実施しているが、地震、豪雨、台風の自然災害の防衛に対する講演要求が増え東南海地震の意識が高いと思料している。

九州(吉住評議員)

容器管理指針については容器の処理方法だけに特化していたが、処理だけではなく容器の管理に力を注ぐべきと判断し「容器は1年経過したら返却」のチラシを作成し、請求書に添えて各社が周知徹底のうえ配布する事とした。鹿児島県だけは6ヶ月の期間実施した。

九州全体の業況については「曇り」の状態であり、鉄骨ファブは好調でホテル建設、商業施設等の大型物件が目白押しとなっているものの、造船

に関しては三菱重工の基幹工場である香焼工場を大島造船に売却する方向で進んでおり、全体的には悪い景況である。

以上で地区報告は終了した。

全溶連賠償責任保険制度のご案内

高圧ガス販売業務に伴う事故による、第三者に対しての法律上の損害賠償責任をカバーする保険です。
全溶連会員企業のための、有利で加入しやすい制度です。

1. 幅広い補償

高圧ガス販売業務の他にも、「工業用LPG販売業務」「電気溶接機販売業務」「電動工具／空圧工具販売業務」「エンジン・発電機販売業務」「溶接棒販売業務」「医療用ガス・医療機器用ガス販売業務」を補償の対象に出来ます。

支払限度額は1億円、3億円、5億円の3種類から選べます。免責金額（自己負担額）は5万円です。専用特約が付帯されます。

全溶連特約①……借用財物、支給財物、受託財物を補償する特約です。

全溶連特約②……管理下にある財物を補償する特約です。

全溶連特約③……不良ガスにより出来上がった不良製品を補償する特約です。

2. 割安な保険料

団体契約のスケールメリットにより、個別にご加入する場合と比較して、保険料が割安です。

3. 簡単な加入手続き

全溶連ホームページかパンフレットで、簡単に保険料の計算が出来ます。保険料の振込みと加入申込票の送付（FAX）だけで、ご加入が可能です。年の途中からでも加入が可能です。

詳細は全溶連（03-5296-0430）までお問い合わせください。

スマホでも読める新しい情報源

電子版
Sガスメディア
Weekly

毎週火曜日配信（週刊）
カラー電子版

購読料

6ヵ月：10,000円 1年：20,000円（税別）

産報出版は、ガス全体を網羅した新たなメディアとして、週刊『電子版ガスメディア』を創刊いたしました。産業用、医療用から、都市ガス、LPガスなどの一般情報まで、ガスに関するあらゆる情報を幅広く掲載し、国内外の最新動向をきめ細かく発信します。

産報出版株式会社

●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840



委員会報告

2020年1月～3月

●財務委員会

日時 2020年1月15日(水)15:00～16:30

場所 全溶連 会議室

出席者 深尾会長、河西副会長、柳川委員長、他4名、事務局2名

議題

(1)平成31年度決算見込(案)について

31年度利益見込み額 利益:269千円

(2)利益処分(案)について

当年度末処分利益:12,046千円を次年度繰越金とする。

(3)全溶連財務状況について

会員数の減少を賛助会員の増加にてカバーしているのが実態で、保安事業収入は周知文書解説書の全面改訂を行うと共に、同解説書の事前注文を単位組合毎に取り付け「周知文書全文解説書」と書籍名を変更のうえ頒布したことから保安文書関係等の収入は大幅に増加したが、2020年度は頒布が完了していることから全体の頒布数は減少すると思われる。

(4)2020年度予算(案)について

2020年度予算(案)損失:615千円

(5)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。



●厚生委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日時 2020年2月13日(木)11:00～12:30

場所 新大阪ワシントンホテルプラザ 老松の間

出席者 深尾会長、上野副委員長他5名、保険会社3名、事務局2名

議題

(1)2020年度団体定期保険の更新並びに医療補償、傷害補償、GLTDの加入状況の件

①加入更新結果について

②組合別加入状況(2020年1月1日現在)

③傷害・医療補償加入状況

④GLTD制度(長期収入サポート)について

(2)ポイントゲットキャンペーンPART3の件
ポイント集計報告

(3)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。



総務委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日時 2020年2月13日(木)12:30～14:30

場所 新大阪ワシントンホテルプラザ 葵・茜の間

出席者 深尾会長、東狐委員長、川本副委員長他7名、事務局2名

議題

(1)第77回全溶連総会(大阪)に関する件

第78回全溶連大会(九州)に関する件

(2)2020年度事業計画(案)に関する件

(3)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。



経済・保安合同委員会

2020年3月26日(木)に開催を予定しておりましたが経済・保安合同委員会は、新型コロナウイルス感染症に関する状況を勘案し、委員各位の健康面、安全面を考慮し、中止となりました。

単位組合紹介

奈良県高圧ガス溶材商協会

所在地 〒633-0062

奈良県桜井市大字粟殿 60 番地 (株)植野ガス内

TEL : 0744-42-2771 FAX : 0744-43-8102

会長 植野弘嗣

設立 昭和 50 年 7 月 1 日

会員数 9 社



植野弘嗣会長

目的

会員相互の親睦を深め会員の公正な経済活動の機会を確保し、並びに高圧ガス保安管理の強化に努める。

活動

毎年 10 月に行なわれます全国一斉高圧ガス容器回収月間にあわせ、放置容器回収の取り組みをしています。

会員事業者を高圧ガス販売事業者講習会を毎年開催して、保安意識向上に努めています。

高圧ガス消費事業者講習会につきましても、不定期ではありますが開催しております。

会員事業者への保安啓蒙のため、全溶連発行の保安関係文書を紹介し、高圧ガス消費事業者及び会員向けに頒布しています。

奈良県高圧ガス保安協議会では、毎年 11 月に行なわれます高圧ガス試験の試験監督員の派遣等で協力しています。

当協会は設立から 44 年となりました。高圧ガス容器対策指針が制定されてから 6 年となります。

今後も会員事業者間の親睦を深め、高圧ガス容器保安対策指針の周知・啓蒙に努め、最新の保安文書の情報提供や保険の紹介をするなど会員事業者に役立てていただける地道な活動を続けてまいります。



藤原京の元薬師寺ホタテアオイの花 写真提供：(一社) 奈良県ビクターズビューロー

お客様と共に躍進する
高圧ガス容器用バルブの専門メーカー



14

第77回全溶連 通常総会のご案内

当連合会の第77回通常総会の日程、場所等が決定しましたのでご案内致します。

今年の全溶連総会は「通常総会」のみの形式で開催致します。

通常総会後、懇親パーティーも予定しておりますので、代議員以外の方々も奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時

2020年6月4日(木)

通常総会 14:30 ~ 15:45

懇親パーティー 16:00 ~ 17:30

場 所

メルパルク大阪

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-2-1

TEL: 06-6350-2111

新大阪駅北出口より徒歩5分

●通常総会 4階 ソレイユ

●懇親パーティー 5階 カナーレ

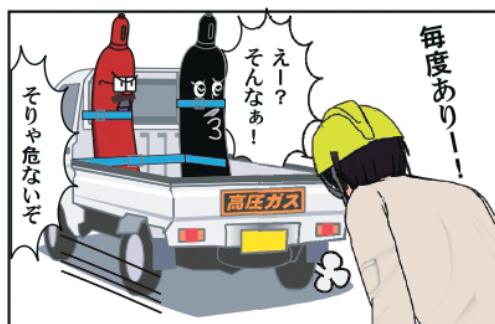
(参加費お一人8,000円をご負担頂きます。)

※新型コロナウイルスに対する通常総会の対応につきましては、今後の感染の広がりを見ながら判断し、特に飲食を伴う懇親会の接触感染防止策として、中止とする場合がございます。ご承知の程、宜しくお願い申し上げます。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘(ふうか) 作画：ひくさん

第二十九話「周知文書は？」の巻



全溶連ホームページ 会員専用ページへの 新規メンバー登録方法

インターネットを開きアドレスバーに

<http://www.zenyoren.com/pwmgr/index.html> を入力。

新規登録メンバー画面が開きますので必要事項を入力し送信します。ご自身のメールに「ログインID・パスワード」が通知されますので、再度全溶連ホームページの会員専用ページへアクセスし、必要事項を入力して下さい。また、会員登録の方法は、全溶連ホームページの会員専用ページの見本を参照して下さい。登録すると定款・規程・会員名簿・役員名簿・委員会名簿・議事録が見られます。

傷害補償全タイプに 「天災危険補償特約」と 「熱中症危険補償特約」が 追加されました!

全労連・福祉共済制度
傷害補償
〈団体総合生活補償保険〉

企業の福利厚生としてご活用いただいています。

毎月加入
できます

天災危険 補償特約

NEW!

業務中、地震が発生し、
倒れてきた荷物によっ
てケガをした。
その結果、90日間入院
することになった。



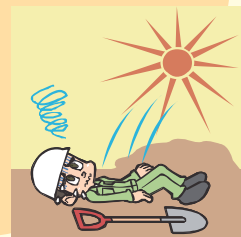
AAタイプ 5口加入で

675,000円を
保険金としてお支払い

熱中症危険 補償特約※

NEW!

暑い日の業務中に意識障害がみられたため
救急車で病院に搬送された。
その結果、熱中症と診断され7日間入院し、
1日通院することとなった。



CAタイプ 5口加入で

37,500円を
保険金としてお支払い

※熱中症危険補償特約は、傷害後遺障害保険金・傷害入院保険金・傷害手術保険金・傷害通院保険金のみお支払いします。
※お支払い例の詳細はパンフレットをご覧ください。

福祉共済制度のパンフレットをいますぐ確認!!

■補償内容および掛金 (1口あたり・最高10口まで)

掛金は右記のとおりです。
加入タイプと加入口数を選
んでお申し込みください。

※団体定期保険にご加入の
事業所が加入できます

補 償 内 容	業務上のケガを補償			24時間補償
	AAタイプ	BAタイプ	CAタイプ	DAタイプ
加入セット名	AAタイプ	BAタイプ	CAタイプ	DAタイプ
傷害死亡・後遺障害保険金額	100万円	—	—	100万円
傷害入院保険金日額	1,500円	1,000円	1,000円	1,500円
傷害手術保険金	入院中に受けた手術：傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外に受けた手術：傷害入院保険金日額の5倍			
傷害通院保険金日額	—	—	500円	500円
1名・1口あたりの月額掛金	90円	40円	90円	370円

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレット(「全労連・福祉共済制度のご案内」)および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会 TEL 03-5296-0430

取扱代理店 株式会社 星和ビジネスリンク
〒108-0014 東京都港区芝4-1-23
TEL 0120-288-270 (平日9時～17時)

引受保険会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-19
TEL 03-6734-9608

(2020年2月承認) B19-150712

— 発 行 所 —

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル) Tel.03-5296-0430 Fax.03-5296-0435

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com